

令和2年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立文化施設(ベガ・ホール、ソリオホール)				
所在地	宝塚市清荒神1丁目2番18号、宝塚市栄町2丁目1番1号				
指定管理者	団体名	公益財団法人宝塚市文化財団	指定期間	開始日	平成31年4月1日
	所在地	宝塚市栄町2丁目1番1号		終了日	令和6年3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間5年のうち1年目	
施設設置目的	宝塚市民の芸術及び文化の向上に寄与するため、宝塚市立文化施設を設置する。				
主な実施事業	(1) 芸術及び文化活動のため、施設をその利用に供すること。 (2) 芸術及び文化の振興に関すること。 (3) 芸術及び文化活動の育成に関すること。 (4) 芸術及び文化に関する情報の収集及び提供に関すること。 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用件数	件	5,300	5,499	5,300	5,435	5,300	5,243	5,300	5,067
b 稼働率	%	—	49	—	51	—	51	—	44
c 事業参加者数	人	—	41,283	—	37,625	—	39,146	—	26,806
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区 分		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算
収入計	A	258,229	260,432	257,610	263,224
指定管理料		171,656	173,732	175,459	173,328
利用料収入	C	60,217	53,792	49,334	53,059
自主事業収入		13,427	11,249	14,054	10,343
その他		12,929	21,659	18,763	26,494
支出計	B	258,229	260,432	257,610	263,224
指定事業費		238,119	243,502	235,006	243,174
内、人件費	D	102,394	103,745	105,991	103,854
内、再委託料	E	54,715	52,457	52,109	59,065
自主事業費		20,110	16,930	22,604	20,050
事業収支	A-B	0	0	0	0
利用料金比率	C/A	23.3 %	20.7 %	19.2 %	20.2 %
人件費率	D/B	39.7 %	39.8 %	41.1 %	39.5 %
再委託費比率	E/B	21.2 %	20.1 %	20.2 %	22.4 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	出向市職員 再任用1 決算については、消費税の会計処理は税抜方式を採用 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月13日から3月31日まで、一部休館(貸館新規受付の停止、利用自粛要請)を実施した。 令和元年度指定管理料のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う一部休館による損失補填額2,817,000円。
------	---

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	S	S
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	S	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	S	S
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	A
	利用者アンケート等	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A
	《 総括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	ベガ・ホール、ソリオホール、一元管理を進めることでコスト削減を図っている。 財団25周年を記念し、各ホールの特色を活かした公演を行い、ベガ・ホールにおいては、若手演奏家支援と施設利用の促進を図る「ベガ1stコンサートプラン」を開始。また、施設から外へ飛び出すことを打ち出し、アウトリーチ活動の充実、ストリートピアノ設置の検討などを行った。 指定管理施設を基点に、「地域のつなぎ手」として、アーティストをはじめ地域社会、観光、商工業等の各分野と連携する取り組みを行った。 職員の資質向上策としては、10月には施設の災害発生時の危機管理能力向上を図るために、全職員対象の防災研修を実施した。 令和2年2月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、自主事業・貸館ともキャンセルが相次いだ。今後、再開に向けて、今までとは違った取り組み(オンラインイベント・チケットレス化等)の検討を進めていかなければいけないと考える。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	文化財団は、本市における文化振興全般を熟知し、芸術文化事業の経験も豊富であることや、市内の文化団体との信頼関係を基盤として、施設業務に当たっていることは高く評価します。また、宝塚学検定や学校等へのアウトリーチ活動などの充実した自主事業を展開するとともに、利用者への丁寧な対応や老朽化した施設・設備に対する応急対応など施設の管理運営も円滑に行っています。 施設の利用件数は、ベガ・ホールについては増加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛により文化施設全体としては減少しました。また、事業参加者数も、3月の事業を全て中止したことに加え、基コンgresや宝塚市展などの共催事業が実施されなかったことで、大きく減少しました。 感染症対策を行いつつ文化活動の再開を目指す市民のため、今後も市民の芸術文化活動の拠点施設としてなお一層の努力を期待します。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	= 協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	= 協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	= 協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	= 協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	= 評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	= 評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	= S、A、C以外
	C	= 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	= 自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	= S、A、C以外
	C	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。